

Supplementary Regulations



FORUM8 RALLY JAPAN
 RALLY-JAPAN.JP



Title Partner



Gold Partner



Bronze Partners



目次

1	はじめに	3
2	主催	3
3	プログラムと主要な締切	7
4	エントリー	10
5	保険	12
6	広告と識別	13
7	タイヤ	14
8	燃料	15
9	レコノサンス（レッキ）	16
10	参加確認	17
11	車検、シーリング及びマーキング	17
12	OTHER PROCEDURES	19
13	オフィシャルの識別	24
14	賞典	24
15	再車検、抗議	24
	APPENDIX 1 – アイテナリー	26
	APPENDIX 2 – レッキスケジュール	30
	APPENDIX 3 – コンペティター・リレーションズ・オフィサー	31
	APPENDIX 4 – 広告と識別	32
	APPENDIX 4 – 広告と識別	33
	APPENDIX 5 – ドライバーの安全装備	34
	APPENDIX 6 – FIA WRC トラッキングシステム	35

本特別規則書（日本語訳）は、英語版の原典 = SUPPLEMENTARY REGULATIONS の国内コンペティターに理解いただくための翻訳版であり、規則運用は全て英語版 SUPPLEMENTARY REGULATION を根拠とする。規則に疑義が生じた場合、全て SUPPLEMENTARY REGULATIONS の文言にて解釈するものである。

1 はじめに

1.1 公示

FORUM8 RALLY JAPAN 2026 は、2026 年 FIA 国際スポーツ規則（およびその附則）、2026 年 FIA WRC 競技規則、ならびに FIA 規則に準拠した国内競技規則、および本特別規則書に従って実施される。本特別規則書の修正、改正及び／又は変更は、主催者または審判員が発行する番号と日付が記載されたブルテンによってのみ発表される。

2026 年 FIA 国際スポーツ規則は以下で閲覧可能です www.fia.com/regulation/category/123.

2026 年 FIA 世界ラリー選手権競技規則は以下で確認できます www.fia.com/regulation/category/119.

1.2 路面

すべてのスペシャルステージはターマック（舗装路）で行われる。

1.3 距離

スペシャルステージ距離: 303.48km

総距離: 905.62km

2 主催

2.1 本大会にかかる FIA タイトル

FIA 世界ラリー選手権 ドライバーおよびコ・ドライバー部門

FIA 世界ラリー選手権 メーカー部門

FIA 世界ラリー選手権（チーム）

FIA WRC2 選手権（ドライバー＆コ・ドライバー）

FIA WRC2 チャレンジャー選手権（ドライバー＆コ・ドライバー）

FIA WRC2 選手権（チーム）

FIA WRC マスターズカップ（ドライバー＆コ・ドライバー）

FIA WRC3 選手権（ドライバー＆コ・ドライバー）

2.2 VISA 番号

JAF Visa Number: 2026-0007

Issued on 12 March 2026

FIA Visa Number: TBA

2.3 主催者の名称、住所及び連絡先

主催者

トヨタモータースポーツクラブ(TMSC)

<https://toyota-motorsports-club.jp/>

豊田市

<https://www.city.toyota.aichi.jp/>

NPO 法人 M.O.S.C.O.

<https://www.n-mosco.com/>

大会実行委員会事務局

豊田市ラリーまちづくり課

〒471-8501 愛知県豊田市西町 3-60

Tel: 0565 34 6950 Fax: 0565 32 9779

大会競技事務局

NPO 法人 MOSCO

〒471-0025 愛知県豊田市西町 1-200

Tel: 0565 41 3316 Fax: 0565 41 3319

* 5月23日（土）より、事務局機能は本社へ移転し、当オフィスはウェルカムセンターとなります。

E-mail: info2026@rally-japan.jp

*宿泊施設および宿泊に関するお問い合わせ先

entry@rally-japan.jp
*競技参加者のお問い合わせ先

Website: <https://rally-japan.jp/>
X: @WRC_RallyJapan
Facebook: @2020rallyjapan
Instagram: @rally_japan

主催組織

ラリージャパン 2026 実行委員会

会長	太田 稔彦	豊田市
副会長	広沢 一郎	名古屋市
副会長	小坂 喬峰	恵那市
委員	鈴木 章	TMSC
委員	高桑 春雄	NPO 法人 MOSCO
委員	河木 照夫	豊田まちづくり株式会社
事務局長	中神 泰次	豊田市
事務局次長	高島 圭太	豊田市
	紀岡 秀征	恵那市

ラリージャパン 2026 競技組織委員会

会長	鈴木 章	TMSC
委員	河野 誠	TMSC
委員	福井 敏雄	TMSC
委員	高桑 春雄	NPO MOSCO
委員	高橋 浩司	NPO MOSCO

2.4 審査委員会

審査委員長	マゼン・アル・ヒリ	BRN
FIA 審査委員	ウェイン・クリスティ	NZL
ASN 審査委員	田畑邦博	JPN
審査委員会事務局	イヴォンヌ・ギリ	

2.5 FIA デレゲート

スポーティングデレゲート	ティモ・ラウティアイネン
セーフティデレゲート	ニコラ・クランジェ
副セーフティデレゲート	プリイト・プリイマギ
テクニカルデレゲート	ジェローム・トケ
副テクニカル・デレゲート	カルモ・ウースマー
テクニカル・デレゲート補佐	モハンド・アブデルムーラ
	アンドレア・コノシエンティ
メディカル・デレゲート	アンナ・カレラス
メディア・デレゲート	スヴェン・グッド

2.6 シニアオフィシャル

ラリーディレクター	高桑春雄
競技長	嘉屋賢二
副競技長	市川洲夫
	鈴木博
	後藤茂行
競技長補佐	ジョアオ・パッソス
	北川 紗衣
	マグナス・サリバン
	黒崎 直樹 - 計時
	山口 昌也 - リザルト

チーフセーフティオフィサー
 チーフメディカルオフィサー
 副チーフメディカルオフィサー

メディカル事務局
 レスキューチーフ
 技術委員長
 副技術委員長

サービスパークマネージャー

サービスパークコーディネーター
 リグループコーディネーター
 ロジスティクスマネージャー
 無線オペレーター

無線通信マネージャー

トラッキングコーディネーター
 コースカーコーディネーター
 競技事務局長
 事務局

審査委員会秘書補佐
 コンペティターリレーションズオフィサー

警察・行政連絡担当
 ナショナルプレスオフィサー
 セレモニーコーディネーター

リフューエルコーディネーター
 ウェブコミュニケーションマネージャー
 環境担当
 大会事務局長
 大会事務局

染宮 弘和
 西田 広一郎
 渡邊水樹
 水谷 敦史
 藤井 穂高
 安東 貞敏
 杉村 卓哉
 並木 衛
 織原 敏明
 川田 輝
 岩村 苑美
 福村幸則
 丸山高康
 高先伸枝
 池田 徹矢
 高野 啓嗣
 新井 健悟
 天野 浩明
 瓜生 知世
 小林 剛
 佐藤忠宣
 高橋 浩司
 菅野 正則
 岩田 紘明
 生田 卓哉
 上野 華歩
 石井 健登
 アーサー美葉
 ピーター・マクニール
 竹下 紀子
 戸田 明
 三浦 正人
 西川 雄太
 奥泉 友紀
 高橋 巧
 石城 健司
 伊奈 卓真
 中神 泰次
 中野 将
 秋山 宏旭
 野澤 雄太
 川合 友季子
 宮本 和夫
 纈纈 基正
 吉川 知宏
 大中 実季
 清水 隆良

2.7大会本部、メディアセンター、サービスパークの所在地 大会本部（ラリーHQ）：

スカイホール豊田

〒471-0861

愛知県豊田市八幡町 1 丁目 20 番地 [N35 04 51.6 E137 09 48.4](#)

0565 41 3316

大会本部は 5 月 23 日（土）から 6 月 1 日（月）までオープンします

ラリー・スポーティングオフィス／ウェルカムセンター

NPO 法人 MOSCO／トヨタ参合館（2 階）

〒471-0025

愛知県豊田市西町 1 丁目 200 番地 [N35 05 10.2 E137 09 27.0](#)

スポーティングオフィス（競技事務局）は 5 月 18 日（月）から 22 日（金）までオープンします。

5 月 23 日（土）から 31 日（日）までは、ウェルカムセンターとして、スタッフ、ゲスト、出展者、マーシャル、ボランティアなどの受付窓口となります。

サービスパーク

豊田スタジアム

〒471-0016 愛知県豊田市千石町 7 丁目 2 番地 [N35 05 04.4 E137 10 15.4](#)

メディアセンター

豊田スタジアム B1-201

2.8 コミュニケーションと公式掲示板

ラリーオフィシャル全員（競技長、ラリー事務局、CRO、スチュワード）と競技者／クルーメンバー間の個別および一般的な連絡は、イベント期間中、可能な限り主に Sportity アプリを通じて行われる。

この目的のため、各競技者は公式通知等の受領を目的として権限を付与された公式な代表者 1 名を指名することが義務付けられる。これらの通知の一部はラリーカーがステージ走行中に発行される可能性があるため、この人物はドライバー／コ・ドライバーでもあってはならない。この人物は、イベント期間中サービスパークに常駐し、一般および個別の連絡に対応可能なチーム代表者であるべきである。

この連絡先（氏名、役職、携帯電話番号、メールアドレス）は、遅くとも 5 月 11 日までに、以下のオンラインフォームよりご登録ください。 <https://forms.gle/A94mVbzWdou6nVgeA>

2026 年国際スポーツ規則第 11 条 7.4 項に定められている通り、公式掲示板はデジタル掲示板となり、Sportity アプリおよび大会ウェブサイトに掲載されます。

物理的な公式掲示板は設置されません。デジタル掲示板に文書が掲載されると、Sportity アプリより通知が送信されます。

Sportity アプリは、iOS デバイス向けには App Store で、Android デバイス向けには Google Play でダウンロード可能です。イベントパスワードは **WRCJPN26** となります。

3 プログラムと主要な締切

3.1 大会前のスケジュール

3月10日（火）	
無線免許申請及びヘリコプター登録の締切日	大会事務局
3月12日（木）	
特別規則書の発行	DNB
3月19日（木）	
ハンコックタイヤ注文締切日	See Art.7
FIA 燃料注文締切日	See Art.8
3月28日（土）	
エントリー受付開始	See Art. 4
3月30日（月）	
メディア認定申請受付開始	
4月18日（土）	
臨時運行許可証申請書／主催者による保険申請締切日	See Art. 5.2
4月28日（火）	
エントリー締切（23:59 CET）	See Art. 4
レッキのみ申請締切	See Art. 9.3
サービスパークオーダー及びエリアリクエスト締切	Link to form
4月30日（木）	
ラリーガイド2発行	www.rally-japan.jp
5月5日（火）	
エントリーリスト発行	DNB
5月11日（月）	
ナショナルプレスオフィサーへのメディア申請締切日	
5月14日（木）	
チームの連絡先代表者締切日	See Art. 2.9
ノンプライオリティクルーのシェイクダウン登録締切日	See Art. 12.2
オンボードカメラ申請締切日	See Art. 11.7
5月18日（月）	
FIA メディア・デレゲートへのメディア申請締切日	WRCMedia@fia.com

3.2大会期間中のスケジュール

5月23日(土)		
12:00 - 20:00	サービスパーク東オープン/マニファクチャラー	豊田スタジアム
15:00 - 20:00	サービスパーク南オープン/全プライオリティ競技者	豊田スタジアム
5月24日(日)		
7:00 -	サービスパークオープン(全競技者)	豊田スタジアム
15:00 - 19:00	プライベートテスト参加者向け 臨時運行許可証の配布	ラリーHQ
18:00	レッキ登録申請締切	See Art. 9.1
5月25日(月)		
8:00	ルートノートカーの登録申請締切	See Art. 12.26
9:00 - 19:00	参加確認 個別スケジュールごとに実施	See Art. 10.1 & 10.2
14:00-20:00	レッキ追跡アプリ「RS Lite」の 個別イベントアクセスコード (およびスマートフォン/オプション)の配布	SASオフィス (サービスパーク内) See Art.9.2.3
18:00-19:00	マニファクチャラーチームから1台ずつ (メディアデレゲート選定) P1ドライバーによるプロモーション活動	TBA
5月26日(火)		
8:30 - 19:00	レッキ・デイ1	See Appendix 2
21:00	全ドライバーおよびコ・ドライバーが、FIAセーフティラッキングシステムに関するFIAeラーニングコースを修了する期限	See Art.12.1
5月27日(水)		
8:00 - 18:30	レッキ・デイ2	See Appendix 2
14:00	全車両の車検と部品封印(ラリー1を除く。日程は後日ブルテンで発表)	豊田スタジアムB2車検場
14:00	ラリー1車両の車検及び封印(スケジュールは後日ブルテンで発表)	各チームの サービスベイ
14:30 - 15:00	タバード・メディアセーフティブリーフィング	ミーティングルーム -豊田スタジアムB2-109
15:00 - 18:30	ラリー車用FIAセーフティラッキング装置の回収	SASオフィス (サービスパーク内)
17:00	シェイクダウンのスタートリストの発表	DNB
18:00	WRCチームマネージャーミーティング(招待制)	ラリーHQ (スカイホール豊田)
19:00	ドライバーセーフティブリーフィング - その年のWRCイベントに初参加する全クルー参加必須	See Art.12.1
19:30	WRCプロモーター主催のドライバーとコ・ドライバーの写真撮影(2026年に初めてWRCイベントに参加するプライオリティードライバー全員に必須。ヘルメットとオーバーオール着用が義務付けられる)	ミーティングルーム -豊田スタジアムB2-109
19:00-21:00	RNCが使用しない場合のレッキ用レンタルスマートフォンの返却	SASオフィス (サービスパーク内)

5月28日 (木)		
8:01 – 12:30	シェイクダウン	鞍ヶ池公園 See Art.12.2
11:00 – 12:30	FIA WRC メディアペン (P1およびP2ドライバー)	豊田スタジアム・ファンゾーン
13:00 – 13:45	サイン会	豊田スタジアム・ファンゾーン
17:30 – 18:15	FIAミート・ザ・クルー - ノミネートされたドライバー、コ・ドライバーおよびチーム代表	TBA
	セレモニアルスタート	TBA
19:00	セクション1スタートリスト発行	DNB
5月29日 (金)		
7:00	セクション1スタート	豊田スタジアム
~ 19:30	FIA ミート・ザ・クルー: チーム代表、総合トップ3ドライバー、WRC2 トップ3、およびその他の選抜競技者	豊田スタジアム・ファンゾーン
20:00	セクション3スタートリスト発行	DNB
Saturday 30 May		
6:13	セクション3スタート	豊田スタジアム
~19:30	FIA ミート・ザ・クルー: チーム代表、総合トップ3ドライバー、WRC2 トップ3、およびその他の選抜競技者	豊田スタジアム・ファンゾーン
21:00	セクション6スタートリスト発行	DNB
Sunday 31 May		
6:56	セクション6スタート	豊田スタジアム
15:45	ラリーフィニッシュ	TC21A
16:00	RNC が使用したレンタルスマートフォンの返却期限	SAS オフィス (サービスパーク内)
15:00 – 20:00	一臨時運行許可証及びナンバープレートの返却	コンペティターレセプション (サービスパーク内)
15:15	パワーステージ表彰	下山保健福祉センター まどいの丘
16:30	表彰式・賞典授与	豊田スタジアム
17:00	再車検	豊田スタジアム B2 車検場
17:30 – 19:00	セーフティトラッキングデバイス返却	SAS オフィス (サービスパーク内)
17:30	記者会見	メディアセンター
19:00	暫定結果発表	DNB

3.3 開場時間 - ラリーHQ、メディアセンター

日付	曜日	ウェルカムセンター	ラリーHQ	メディア受付	メディアセンター
5月23日	土	09:00-17:00	09:00-18:00		
5月24日	日	09:00-17:00	09:00-19:00		
5月25日	月	09:00-17:00	09:00-19:00		
5月26日	火	09:00-17:00	08:00-19:00	14:00-18:00	14:00-18:00
5月27日	水	08:30-17:00	08:00-19:00	08:00-18:00	08:00-20:00
5月28日	木	09:00-17:00	08:00-19:00	07:30-18:00	08:00-*
5月29日	金	09:00-17:00	07:00-19:00	-	07:00-*
5月30日	土	09:00-17:00	07:00-19:00	-	07:00-*
5月31日	日	09:00-12:00	07:00-18:00	-	07:00-*
6月1日	月	-	09:00-12:00	-	-

*最終利用者の退出まで

4 エントリー

4.1 エントリー締切

すべての競技者のエントリーは、2026年4月28日（火）23時59分（中央ヨーロッパ夏時間）にて締切となる（日本時間では2026年4月29日（水）6時59分）。

4.2 エントリー手順

WRC メーカーおよび WRC チーム、WRC3 ならびに WRC マスターズカップの競技者でポイント獲得を希望する者は、<https://registrations.fia.com/rally> で入手可能な標準的な FIA 電子エントリーフォームを使用して登録する必要がある。

ノンプライオリティの競技者（FIA 公認車両を使用する者）が FORUM8 ラリージャパン 2026 に参加を希望する場合、エントリー締切日までに FIA ウェブサイト <https://registrations.fia.com/wrcjpn> に掲載されている電子エントリーフォームに記入しなければならない。

2026年 FIA WRC 競技規則第 12.3 条に基づき **ナショナル/リージョナルカー** で出場する競技者は、ラリー公式サイト <https://rally-japan.jp/rje/competitors/document> で入手可能な専用エントリーフォームを提出しなければならない。第 4.3.1 条も参照のこと。

エントリーは、エントリー料全額の支払いが確認された場合のみ受理される。受理されるためには、競技者はエントリー料の支払い証明（銀行書類のスキャンした PDF コピー）を、エントリー締切日である 2026年4月28日（火）までに、ラリー事務局（entry@rally-japan.jp）宛にメールで送付しなければならない。

第 10.1.1 条に定める書類は、2026年4月28日（火）までに、ラリー公式サイトで入手可能な 2 種類のフォームのいずれかを使用して提出しなければならない：

FIA 選手権登録競技者 <https://forms.gle/UXtKUwEmWKzwxv1S8>

ノンプライオリティ競技者 <https://forms.gle/EKn4MLjsv3Yvpbid6>

4.3 エントリー受入台数とクラス

エントリーの上限は 45 台である。

45 台を超えるエントリーがあった場合、主催者はこの数を増やす権利を留保し、ノンプライオリティドライバーの中からどのエントリーを受け入れるかを決定する。

車両は、2026年 FIA WRC 競技規則第 12.4 条に示される通りクラス(およびグループ)に分けられる。

4.3.1 ナショナル・リージョナル車両

JAF の承認を得て FIA に提案された車両は、2026年 FIA WRC 競技規則第 12.3 条の規定に基づきエントリーできる。ただし、これらの車両は 2026年 FIA 国際スポーツ規則附則 J 第 253 条に規定されるセーフティ要件を完全に満たす必要がある。また、2026年 FIA WRC 競技規則に定められたその他の適用規定及び手続き(タイヤ、再スタート規定など)にも全て準拠しなければならない。

クラス	エンジン排気量	グループ
JR1	2500cc以上	- グループNR4 : 2000cc以上 - AP4/JP4 : 2500cc以上 - 日本で承認されたJAF規定RJおよびAPRC車両
JR2	1600cc以上 2500cc未満	- JAF規定RJおよびJP4 2WD車両(自然吸気1600cc超~2500cc以下、ターボ1600cc以下*/ *公称値) - 日本国内で承認されたAPRC車両
JR3	1600cc未満	- 日本で認可されたJAF規定RJおよびAPRC車両(自然吸気は1600ccまで、ターボは941ccまで*/ *公称値)

4.4 エントリー費及びパッケージ

4.4.1 WRC 登録競技者

WRC プロモーターとラリージャパン実行委員会の合意に基づき、2026年 FIA WRC 競技規則に定義される全 WRC 選手権(WRC、WRC2、WRC3)の競技者を含む、メーカーおよび WRC チームのエントリーフィーは、FORUM8 ラリージャパン 2026 において免除となる。

4.4.2 ノンプライオリティ競技者

WRC 選手権のいかなるタイトルにも該当しないノンプライオリティドライバーのエントリー料は、消費税 10%込みで (A) 990,000 円または (B) 770,000 円である。A と B の差額については第 4.4.4 条を参照のこと。

4.4.3 レッキのみの参加者

レッキのみの料金 : 220,000 円 (消費税 10%込み)

4.4.4 エントリーパッケージ

WRC マニュファクチャラーおよびサポート選手権競技者向けエントリーパッケージ : 2026年 FIA WRC 競技規則附則 VI に準拠。

その他の競技者:

		ノンプライオリティA	ノンプライオリティB
車両プレート	サービス	1	1
	補助プレート	1	1
パス	ドライバー	2	2
	チーム	6	5
	チームゲスト	2	2
印刷物	ロードブックセット	3	2
	ルートマップ	3	2
	公式プログラム	5	3
サービススペース (幅 x 奥行き)	サービスパークのスペース	12m x 6m	6m x 6m

追加チームパス (1名) 22,000円 (参加車両 1 台につき2枚まで)

追加チームゲストパス (1名) 22,000円

追加車両補助プレート 55,000JPY (参加車両 1 台につき2枚まで)

主催者は、FIA WRC 競技規則附則 VI および特別規則書で定められた要求を超えるサービススペースを一切認めない。

補助プレートを含む全ての車両識別プレートは、ボンネットなど車両前方から明確に見える位置に貼付しなければならない。日本国内の規制により、フロントガラスへのステッカー貼付は厳しく制

限されている。

4.5 支払いの詳細

参加費の支払いは、銀行振込（発生する手数料はすべて送金者負担）またはクレジットカード（Visa/Amex/Master Card）で行える。<https://rally-japan.jp/rje/payment/>。

日本円（JPY）での銀行振込送金用口座情報は以下の通り：

- 銀行： 豊田信用金庫
- 支店名： 本店営業部 (011)
- 住所： 〒471-8501 愛知県豊田市西町3丁目60番地
- 口座名義： ラリージャパン 2026 実行委員会有限責任事業組合
- 口座番号： 9278524

銀行振込書類の振込先欄には、ドライバーの姓と「WRCJPN2026 エントリーフィー」を振込明細として記載すること。

エントリーフィーの全額は、エントリー締切日までに主催者の銀行口座に入金済みである必要がある。全額の入金がない場合、エントリーは受理されない。

4.6 返金

参加費は次の場合にのみ全額返金される：

- エントリーが受理されなかった申込者
- ラリーが開催されない場合
- エントリー締切前にエントリーを取り消した申込者

その他の事情による一部返金は、主催者の単独の裁量により申請に基づいて行われることがある。

5 保険

5.1 自動車損害賠償責任保険（義務）

ラリージャパンの参加車両（ラリーカー、レッキカー、チーム車両）が日本国外で登録されている場合、日本の道路交通法により自動車損害賠償責任保険（自賠責保険）への加入が義務付けられる。これは日本の公道走行車両に必須の保険である。加えて、ラリー参加車両は全て、ラリー開催期間中、有効な対人・対物賠償責任保険及び人身傷害保険に加入していなければならない。ただし、この自動車保険はラリーカー、レッキカー、チーム車両の損害や損失には適用されない。

5.2 保険の加入

ラリージャパン事務局は、日本国外で登録された競技者のラリーカー、レッキカー、チーム車両に対し、自動車損害賠償責任保険（強制保険）と任意自動車保険を手配する。保険料と条件は車両と運転者の年齢によって異なる。このラリー保険にはサービsparkへのレッカーサービスが含まれる。保険申込書は主催者ウェブサイトの『競技者/ドキュメント』欄から入手できる。

保険料（保険期間：プライベートテスト開始からラリー終了まで）

Drivers' age	Recce Car	Rally Car
All age	33,000JPY	500,000PY
over 35 years old	13,000JPY	190,000JPY
26 - 34 years old	16,000JPY	230,000JPY
21 - 25 years old	23,000JPY	340,000JPY

*申請締切は4月18日（土曜日）

*この自動車保険は、ラリーカー、レッキカー、またはチーム車両の損害または損失には適用されない。

5.3 商業一般賠償責任

主催者はラリージャパン開催のために、事故当たり最大40億円の管理者賠償責任保険に加入してい

る。この保険は、主催者の管理下でない第三者である観客やゲストも対象となる。

5.4 競技第三者賠償責任保険

ラリーの第三者保険は、スペシャルステージでも有効だが、競技車両にのみ適用される。レッキカーやチーム車両は、主催者からナンバープレートやその他のオフィシャル識別証を付与されていても、いかなる状況においてもラリーのオフィシャル参加者とはみなされない。したがって、これらの車両はラリーの保険契約の対象外であり、車両所有者の単独責任となる。

5.5 補償の制限

主催者は、競技者が行った不正行為に起因するいかなる結果についても責任を負わない。たとえその行為がラリーの規則やいずれかの国の法律に反する場合であっても同様である。さらに、エントリーを提出することにより、競技者、ドライバーまたは車両所有者は、本イベントに関して主催者に対するいかなる請求権または補償請求権も放棄する。

5.6 日本登録車両の保険

日本で登録された自動車は、少なくとも以下の内容をカバーする個人傷害保険と賠償責任保険に加入しなければならない：

- ① 人身傷害賠償責任保険： 無制限
- ② 物損賠償責任保険： 20 億円以上
- ③ 人身傷害保険： 無制限

日本で登録されたラリーカー向けの任意の第三者個人傷害・賠償責任保険は、ラリー常設事務局で手配できる。この保険の補償内容は上記と同じである。

5.7 レンタカー

主催者は、レンタカー会社から借りた車両（レッキ車およびチーム車両）について、任意の第三者傷害保険および財産保険の責任を負わない。

5.8 事故の報告

ラリー中に事故が起きた場合、競技者または代理人は直ちに競技長に詳細な書類を提出しなければならない。書類には事故発生時刻、場所、状況、経緯、損傷車両・物品の画像、負傷者の有無、目撃者の氏名と連絡先を記載すること。事故報告書はロードブックの巻末に添付されている。

5.9 主催者の責任免除

ラリーのエントリーにより、全競技者（ドライバー、コ・ドライバー、チーム代表者及びその他関係者）は、主催者に対する一切の責任追及権を放棄する。事故発生時には、競技者は警察、消防署、ラリージャパン組織委員会、損害保険会社の調査及びその他の対応に協力しなければならない。

6 広告と識別

6.1 主催者の広告

当該表示の仕様は附則 4 に準拠するものとする。

6.2 競技番号とラリープレート

競技番号、ラリープレート、広告は、車検前に附則 4 に従って車両に貼付し、ラリー開催中は常に視認可能でなければならない。

7 タイヤ

7.1 本大会で使用できるタイヤの仕様

2026 年 FIA 世界ラリー選手権競技規則第 13 条、第 14 条及び第 15 条に準拠することに加え、以下の種類のタイヤの使用が確認される：

HANKOOK	Cars in class RC1	Cars in class RC2	Cars in class RC3
1 st choice	210/650R18 VENTUS Z215 WRC3	210/650R18 VENTUS Z215 WRC3	190/630R17 VENTUS Z215 WRC3
Alternative choice	210/650R18 VENTUS Z215 WRC7	210/650R18 VENTUS Z215 WRC7	190/630R17 VENTUS Z215 WRC7
Wet	210/650R18 VENTUS Z210 WRC5	210/650R18 VENTUS Z210 WRC5	180/625R17 VENTUS Z210 WRC5

全ての 4WD ラリーカーは、FIA 指定タイヤメーカーであるハンコックのタイヤを使用しなければならない。これは全ての国内 4WD 車両にも適用される。ラリー前にタイヤを購入した場合、当該タイヤはラリー前車検前にサプライヤーに提示し、バーコードおよび RFID チェックを受けなければならない（2026 年 FIA WRC 競技規則 第 13.2.1 条）。

すべての 2WD ラリーカーにおいて、タイヤのメーカーと種類は自由である。ただし、競技者は以下の事項を遵守すること。

- ・ 2026 年 FIA WRC 競技規則 第 13.1.4 条：各タイヤには、2026 年 FIA 公認バーコード供給業者から提供されたバーコード番号が必須である。
- ・ 2026 年 FIA WRC 競技規則 第 13.3.1 条：
 - ラリー前車検において、タイヤ製造元は FIA によって記録される。
 - ラリー全体を通じて、全てのタイヤは同一のタイヤ供給元から調達されなければならない。
- ・ 2026 年 FIA WRC 競技規則 第 13.3.2 条：ターマック用タイヤは附則 V に準拠し、FIA の公認を得ている必要がある（FIA ウェブサイトに掲載のリスト参照）。RGT 車両については、2026 年 FIA WRC 競技規則 第 13.4.2 条を参照のこと。

7.2 本大会で使用できるタイヤ本数

2026 年 FIA WRC 競技規則第 15.1 条に基づき、イベント全体のタイヤ最大使用数量は次の通り。

	Rally1 Cars	All other priority cars	All other cars
1 st choice	28	26	
Alternative choice	18	18	
Wet	12	12	
Maximum Total Number (including Shakedown)	28	26	26

7.3 タイヤの注文

タイヤの注文は、遅くとも 2026 年 3 月 19 日（木）までに、ラリーのウェブサイトで購入可能なハンコック注文書を使用して行わなければならない。 <https://rally-japan.jp/rje/competitors/document/>

7.4 レッキで使用できるタイヤ

アスファルト用で、E マーク付きか DOT 承認の公認量産タイヤのみが許可される。

7.5 タイヤマーキングゾーン

タイヤマーキングゾーンは **TC0**、**3C**、**6F**、**9C**、**14F**、**18C** の後に設けられる。シェイクダウン用のタイヤマーキングゾーンは、シェイクダウン TC とスタート地点の間にあるテクニカルゾーン内に設けられる。

8 燃料

8.1 概要

全競技者は FIA 指定サプライヤーが提供する FIA 燃料を使用しなければならない。2026 年 FIA WRC 競技規則第 61 条及び第 62 条も参照のこと。

FIA が指定したサプライヤーは Total Energies である。供給、給油サービス及び燃料注文は Sodifuel が担当する。セーフティ上の理由から、市販のポンプ燃料による給油は全車両に禁止される。本ラリーでは全車両が FIA 燃料を使用しなければならない。

環境保護及びセーフティ上の理由から、全競技者は指定給油区域でのみ給油を行わなければならない。サービスパーク内での給油は禁止される（2026 年 FIA WRC 競技規則第 58 条に明記されている場合を除き、缶・ドラム缶等からの給油も認められない）。

燃料供給ラインは以下の通りである。

・「50L ドラム」ラインは、テスト目的およびシェイクダウン当日の朝に公式給油が開始される前に使用される（燃料切り替え、キャリブレーション、車検のための最小量）。

・「給油ポンプ」ラインは、シェイクダウンからラリー終了まで、RZ（給油ゾーン）で供給される目標／計算済み量に対応する。

8.2 FIA 燃料 - 申し込みと料金

ラリー公式サイトから入手可能な燃料注文書は、メールで totalenergies-wrc@sodifuel.com 宛に送付しなければならない。

FIA 燃料の価格は 1 リットルあたり 9.95 ユーロ＋消費税、50 リットルドラム缶は 497.5 ユーロ＋消費税である。銀行振込による前払いのみ受け付ける。振込明細書の写しは注文締切日までに Sodifuel へ送付すること。燃料注文手続きに関する質問は、直接 totalenergies-wrc@sodifuel.com へ連絡すること。

8.3 FIA 燃料 - 注文締切

FIA 燃料の発注期限は 3 月 19 日（木）。

8.4 FIA 燃料 - 給油

FIA 燃料は、ロードブックに記載された指定給油ゾーン（RZ）でのみ入手可能（サービスパーク及び 2 箇所の遠隔給油ゾーン）。

豊田スタジアムの FIA 燃料給油ゾーンは、シェイクダウン時及び TC0、3C、6F、14F、18C 終了後に利用可能。

2 箇所の遠隔給油ゾーンは下記の通り設置される。

- 5 月 29 日（金）SS2 および SS5 終了後

旭総合体育館

- 5 月 30 日（土）SS8 および SS10 終了後

岐阜県恵那総合庁舎

2026 年 FIA 世界ラリー選手権競技規則 61.2.8 条の規定により、給油中クルーは車外に待機しなければならない。クルーの一人が車両を開け、作業員が給油パイプを取り付けることを可能にする。クルーは給油員に対し、必要な燃料量を指示する責任を負う。要求された量の燃料が注入された後、クルーのみが車両を閉め、開口部を固定する。給油区域内での携帯電話の使用は禁止されている。

9 レコノサンス（レッキ）

9.1 登録手続き

競技者は、レッキ登録フォームを 5 月 24 日（日）18:00（日本時間）までに提出しなければならない。

いかなる理由であれ、クルーのレッキ車が代替される場合、代替車両の詳細を事務局に通知しなければならない。

9.2 スペック、国内規則及びスピード制限

9.2.1 通過回数

各スペシャルステージを通過できるのは、最大 2 回までである。レッキは附則 2 のレッキスケジュールに従って実施しなければならない。

全区間において、競技と同一方向での走行のみが許可される。速度は制限され、交通法規を完全に遵守しなければならない。クルーは常にスタート・ストップコントロールを通過してスペシャルステージに出入りし、マーシャルが入場・退場時刻を記録する。

9.2.2 速度制限

レッキ走行中、スペシャルステージにおける最高速度は 60km/h とする。ただし、交通標識、ロードブック、またはブルテンによりこれより低い速度制限が示されている場合はその制限に従う。

道路の一部は極めて狭いため、レッキ走行時には細心の注意を払わなければならない。スペシャルステージ走行時はヘッドライトを点灯させること。

レッキ走行中、スペシャルステージは一般車両や居住者の通行を遮断していないことにクルーは対応しなければならない。競技者は、他の交通やステージ周辺の住民に危険や迷惑をかけない運転をしなければならない。速度超過やその他の道路違反を防止するため、厳格な監視が行われる。レッキ走行中の速度超過は、競技長による罰金の対象となる（2026 年 FIA WRC 競技規則 第 34 条 2 項）。

9.2.3 レッキ用トラッキングシステム

2026 年 FIA WRC 競技規則第 35.4.4 条に基づき、全競技者は iOS または Android スマートフォン 1 台を用意し、レッキ車両に FIA オフィシャルサプライヤーである STATUS AWARENESS SYSTEM(SAS)が開発したスマートフォン用アプリケーション「RS Lite」を装備しなければならない。SAS は個別イベントアクセスコードを SAS オフィスで配布する。

レンタル端末は SAS から必要に応じて利用可能である。これらは SAS ウェブサイト上でイベントアクセスコードの購入手続きを完了する際に申請しなければならない。

9.2.4 支払い

全競技者：40 ユーロ + オプションのスマートフォン端末レンタル（必要な場合）：100 ユーロ

支払いは SAS ウェブサイト上で事前にオンラインで行う必要がある：

<https://wrc.statusas.com/shop/recce/>

レッキ車が走行中（道路区間も含む）は、RS Lite アプリケーションを常に起動状態に保ち、携帯電話を充電しておく必要がある。誤った使用があった場合は、審査委員に報告される。

9.2.5 レッキ車両の識別

レッキにエントリーした各クルーには、3 組の識別番号が発行される。1 組の番号はレッキ車両の後部サイドウィンドウに貼付しなければならない。もう 1 組の番号ステッカーはフロントウィンドシールドの上部中央に貼付すること。さらに、レッキのロードブックに記載された指示に従い、レッキグループステッカーを貼付しなければならない。

9.3 レッキのみの参加者

適切な国際ライセンスを所持し、かつラリーに参加登録していないドライバーは、全スペシャルステージのレッキ走行への参加を申請できる。登録条件は全て遵守されなければならない。主催者は申請を承認しなければならない。

レッキ走行のみの参加費は 220,000 円（消費税 10%込み）である。レッキ走行のみの登録締切は 4 月 28 日（火）である。

申込リンクについては第 9 条 1 項を参照のこと。

10 参加確認

10.1 手順

5月25日(月)、スカイホール豊田に設置されるラリーHQにて、参加確認が行われる。2026年FIA WRC競技規則第30.1条にかかわらず、ドライバーとコ・ドライバーは自ら参加確認に出席する必要はない。各競技者は事前に主催者に対し、書類の手続きを完了し、レッキ資料及びラリー関連書類を受け取るための正式な代理人を1名指名しなければならない。

10.1.1 事前に送付すべき書類

4月28日(火)までにオンラインフォームを使用して提出する書類(第4.2条参照)：

1. すべての詳細を記入したエントリーフォーム(国内/地域車両)
2. すべてのライセンスとパスポート
 - ・ 国際競技者ライセンス
 - ・ ドライバー及びコ・ドライバーの国際競技ライセンス
 - ・ ドライバー及びコ・ドライバーの国際運転免許証
 - ・ ドライバー及びコ・ドライバーのパスポート(日本国籍者は除く)
 - ・ 全外国人競技者及び/又はドライバーのASN認可書(ライセンスに含まれない場合)
3. 車両保険証明書(第5条参照) - 主催者が保険を提供する場合は申込書を提出すること
4. 車両登録書類
5. ラリー車両公認書(ホモロゲーション)の表紙(ラリー1車両を除く)
6. FIAテクニカルパスポート(ラリー2およびラリー3車両用)
7. 2026年初のWRCイベントに参加するドライバーおよびコ・ドライバーの署名済み「ドライバー宣言書および誓約書」
8. **申請書類** - 支払い明細書、臨時運転許可登録用紙、保険証明書または主催者手配のラリー保険登録、サービスパーク注文書、サービスパーク配置図、発電機届出書

10.1.2 参加確認時に提出が必要な書類

参加確認では以下の書類が必要となる：

- 1 エントリーフォームは、ドライバー、コ・ドライバー、競技参加者がそれぞれ署名した上で、適切に記入されていること
- 2 ドライバー、コ・ドライバー、参加者による免責同意書(ラリー公式サイトで入手可能)
- 3 加えて、上記2~5項に記載された書類は、確認される可能性があるため持参すること。

10.2 実施場所と時間

場所：ラリー HQ、スカイホール豊田(武道館ホール2階)

豊田市八幡町1-20 N35 04 51.6 E137 09 48.4

日付：2026年5月25日(月曜日)

個別の時間は後日通知する。事務局は事前に競技者に連絡し、希望する時間と来場者を確認する。

11 車検、シーリング及びマーキング

11.1 車検場及びタイムテーブル

ラリー1車両は、5月27日(水)に各サービスベイで車検・マーキング・封印が行われる。その他の全車両の車検は、同じく5月27日(水)に豊田スタジアム(B2駐車場)で行われる。個別のタイムテーブルはブルテンで発表される。

11.2 マッドフラップ

ISC附則J第257.7.7条に準拠した横方向マッドフラップ(全輪)の装着は許可されるが、しかし義務ではない。

11.3 ウィンドウ/ネット

後部窓および後部側窓には、銀メッキまたは着色フィルムの使用が許可される (ISC 附則 J、第 253.11 条)。同条に基づき、飛散防止フィルムを使用しなければならない。窓用ネットは使用を認めない。後部側窓に装着する銀メッキまたは着色フィルムには、車内の乗員または積載物を確認できるため、直径 70mm の円に相当する開口部を設ける必要がある。

11.4 封印とマーキング

車検前に、全車両はギアボックスとデファレンシャルの封印のためアンダーガードを外すこと。重量測定のため、外したガードは車両と共に所持すること。車両の封印は、2026 年 FIA WRC 競技規則第 16 条および第 17 条に基づき実施される。また、車両のシャーシとシリンダーブロックにはマーキングを施す (2026 年 FIA WRC 競技規則第 31.1.6 条)。

11.5 ドライバーの安全装備

車検では、競技者は使用予定のヘルメットやヘッドレストを含む全ての装備品を提出しなければならない。装備の状態と ISC 附則 L 第 III 章への適合性が確認される。セーフティ情報については附則 5 も参照のこと。

11.6 ノイズレベル

車検時に騒音検査が行われることがある (ISC 附則 J に準拠し、3500rpm 時最大 103db)。この基準を超える車両は車検を通過できない。

11.7 オンボードカメラ

オンボードカメラの使用を希望する競技者は、遅くとも 2026 年 5 月 14 日 (木) までに WRC 認定ポータルを通じて申請しなければならない。この期日を過ぎて提出された申請は一切考慮されず、当該競技者は車両への OBC 設置を許可されない。

2026 年 WRC シーズンで初めて OBC を登録する者は、まずこちらのリンクを使用すること：

<https://qrco.de/WRCOBCRegistration>

2026 年に OBC を既に申請した者は、このリンクから登録すること (パスワード不要)：

<https://qrco.de/OBCForm2026>

車検前に、許可されたカメラ付近の車両に貼付しなければならない許可ステッカーは、参加確認時に入手しなければならない。

カメラ及びカメラレコーダーの固定方法は、2026 年 FIA 国際スポーツ規則附則 J 第 253.2 条に準拠しなければならない。

イベント前の OBC に関する問い合わせは、WRC プロモーター認定マネージャーのミゲル・フォンセカ宛てに行うこと。 accreditation@wrc.com。

11.8 FIA セーフティトラッキングデバイス

2026 年 FIA WRC 競技規則第 53.2.1 条に従い、全競技者は車両に FIA セーフティトラッキングデバイスを設置するための準備をしなければならない。本ラリーにおける FIA セーフティトラッキングデバイスの保証金は徴収しない。装置の損傷は全て後日競技者に請求される。装置の受取・返却時期と場所については、本規定第 3.2 条に従う。装置の正常な作動と設置は車検時に確認される。設置及び操作手順書は、本規定附則 6 に規定される通り、ラリー公式サイトで入手可能である。

プライオリティ競技者は全員、SAS RallySafe WRC 仕様取り付けキットを購入しなければならない。これは全 WRC イベントにおいて車両に恒久的に設置される。ノンプライオリティ競技者は、RallySafe WRC 仕様キット購入の代わりに、単一イベント用のキットをレンタルする選択肢がある。レンタル料はイベント当日に FIA セーフティ追跡装置受付窓口で支払い・受領し、イベント終了時に追跡装置と共に返却する。手順については、本特別規則書の附則 6 を参照のこと。FIA セーフティトラッキングデバイスは、最終パルクフェルメにおいて、車検官の監督下でチームメンバーが取り外すことができる。いずれの場合も、パルクフェルメの開放が審査委員により承認されてから 1 時間以内に、サービスパーク内の STATUS AWARENESS SYSTEM (SAS) オフィスへ返却しなければならない。

競技者がリタイアした場合、トラッキングユニットと関連ケーブルは、サービスパーク内の SAS オフィスの元へ、可能な限り速やかに返却しなければならない。

11.9 LED リピーター

全競技車両に LED リピーター装置の搭載が義務付けられる。本装置は SAS より通常キットの一部として提供される（配線・取付プレート含む）。SAS 提供の取扱説明書に従い、車検前に運転席から直接視認可能な位置に設置すること。

LED リピーターは、トラッキングシステムからの主要なセーフティ情報（例：レッドフラッグ、SOS/ハザード/道路封鎖、ブッシュ・トゥ・パス、フライングフィニッシュ）を繰り返し表示する。これにより、ドライバーは道路から目を離さずに重要な情報を受け取ることが可能となる。また、クルーがトラッキング画面を参照して詳細情報を確認するよう促すことも目的としている。これは旗やボード、マーシャルに代わるものではない。クルー自身のセーフティと他者のセーフティのために、迅速かつ一貫した対応を促す追加の視覚補助装置である。

12 OTHER PROCEDURES

12.1 ドライバーセーフティブリーフィング

2026 年に WRC イベントに参加したことのない全ドライバー及びコ・ドライバーは、5 月 26 日（火）21:00（日本時間）までに FIA e ラーニングコースを修了し、FIA セーフティトラッキングデバイスに関する評価に合格しなければならない。また、5 月 27 日（水）19:00（日本時間）に豊田スタジアム内会議室 B2-109 で開催されるドライバー・セーフティブリーフィングへの出席が義務付けられる。e ラーニングコースの手順は、エントリーリスト発表後、競技者宛にメールで送付される。

12.2 シェイクダウン

スケジュール	08:01 - 9:45	P1 及び指名されたドライバー
	10:01 - 11:00	全プライオリティドライバー
	11:01 - 12:30	P1 以外の全ドライバー

全 P1 ドライバー及び招聘ドライバーは、シェイクダウンスタートリストに示された順序で、かつ主催者が FIA 及び WRC プロモーターと協議の上決定した間隔で、シェイクダウンの初回走行を完了しなければならない。

この初回走行のスタートリストは、2026 年 5 月 27 日（水）17 時に公表される。公表されたチェックイン時間（TC および SD スタート）からの逸脱はすべて審査委員会に報告され、審査委員会はペナルティを科すことがある。

TC 終了からシェイクダウン開始までの 5 分間にはテクニカルゾーンが設定される。これらの所定の走行が終了後、P1 および招待ドライバーは 1 分間隔でシェイクダウン走行を継続できる。

P2 および P3 の全ドライバーは、シェイクダウンで少なくとも 1 回の走行を行わなければならない。ロードブックに記載されたリモートサービスエリアは、全競技者に対して利用可能だ。「サービス」または「補助」プレートを付けた車両（乗用車またはバン）を、エントリーしたクルーごとに 1 台、以下の通り許可する：

- ・ SD スタートリストに基づく P1 および招待クルーは、7:00 からアクセス可能
- ・ その他のプライオリティ競技者：9:00 よりアクセス可能
- ・ ノンプライオリティ競技者：10:00 よりアクセス可能

ノンプライオリティドライバーのシェイクダウン参加は任意である。シェイクダウンへの参加を希望するノンプライオリティドライバーは、5 月 13 日（水）までに[登録フォーム](#)に記入しなければならない。

12.3 公式時間

ラリー中の公式時間は GPS によるものである。タイムゾーンは日本標準時 (JST)、UTC+9 時間、CEST+7 時間である。

12.4 サービスパーク

12.4.1 入場

サービスパークには、適切な車両識別パス（サービス車両、補助車両、ルートノートカー）を所持する車両のみが入場を許可される。各チームに割り当てられた指定サービスエリア外でのサービス車

両および／または補助車両の駐車は、一切禁止される。

12.4.2 サービスパークのコンディション

サービスパーク内の各エリアは、清掃された状態で、ゴミを残さずに退去しなければならない。テントの設置やその他の目的で、アスファルトにアンカーを打ち込むことは禁止されている。

12.4.3 施設の解体

2026年5月31日（日曜日）13時前にサービスエリア施設を解体する場合は、サービスパーク内にラリー車両がない時間帯に行わなければならない（アイテナリー参照）。ただし、当該チームエリアの境界内のみで解体作業を行う場合（いかなる交通レーンやチーム外部エリアも使用しない場合）は例外とする。

12.4.4 サービスパーク内の制限速度

サービスパーク内での速度制限は30km/hとする。

12.5 ドライバーを伴うプロモーション活動

5月25日（月） 18:00 – 19:00 豊田市駅前スクエア

FIAメディア・デレゲートが指名したP1ドライバー及び車両によるプロモーション活動。

12.6 セレモニアルスタート

セレモニアルスタートに関する詳細は、後日、ブルテンで発表される。

12.7 スタート順とスタート間隔

スタート順は、2026年FIA世界ラリー選手権競技規則第41.2条に準拠する。

全ドライバーは2分間隔でスタートする。競技長は、安全上必要と判断した場合、審査委員会の了解を得て、ドライバーのスタート順を変更したり、車両間のスタート間隔を変更したりすることができる。

スーパースペシャルステージ（藤岡・鞍ヶ池公園）およびパワーステージにおいては、異なるスタート間隔が適用される場合がある。

12.8 管理手順とタイムカード

ラリー全体のタイムカード一式（シェイクダウン及びリタイア後の再スタートサービスを含む）は、参加確認時にラリー資料と共に配布される。全クルーは、少なくとも1日分のタイムカードを全て車内に携行することが必須である。

12.9 スペシャルステージのスタートシステム

スペシャルステージでは、標準SASスタート装置を用いてスタートする。スタートライトの点灯順序は、2026年FIA WRC競技規則附則VIIに規定される通りとする。

12.10 SSフィニッシュにおける減速エリア

2026年FIA国際スポーツ規則附則H第5.5.4.1条c項に従い、各スペシャルステージにおけるストップポイント到達速度を低減するため、主催者は道路左右両側にコーンを2基設置し、クルーに減速を強制する。レッキ時、これらのコーン設置位置は表示されるが、コーン自体は使用されない。

12.11 スーパースペシャルステージの手順

12.11.1 藤岡スーパーSS

SSS13終了後、SSS14の車両はSSS13の車両と交互にスタートする。全車両のスタート間隔は1分または2分となる。

12.11.2 鞍ヶ池スーパーSS

SSS17終了後、SSS18の車両はSSS17の車両と交互にスタートする。全車両のスタート間隔は1分または2分となる。

12.12 リタイア後のリスタート

2026年 FIA WRC 競技規則第 54 条に基づき、セクションを完走できなかったクルーは、夜間リグループ後の次のセクション開始地点からラリーを再開するとみなされる。ラリーを再開するクルーは、夜間リグループ後の次のセクション開始少なくとも 4 時間前までに、夜間パークフェルメに車両を保管しなければならない。

再スタートしない場合、競技者はロードブック内の所定用紙に記入の上、スタートリスト発表前に可能な限り速やかに主催者（CRO、事務局長または競技長）へ提出しなければならない。プライオリティドライバーが運転する車両については、最大 3 時間（P1 は 4 時間）のサービス用に特別タイムカードが使用される。

12.13 フレキシサービス

5 月 29 日（金）および 30 日（土）の夜間サービスは、2026 年 FIA WRC 競技規則第 59 条に規定される通り、全クルーを対象にフレキシブルサービスとして実施される。

12.14 パワーステージ

2026 年 FIA WRC 規則書第 50 条に基づき、SS20 三河湖ステージはパワーステージとして実施される。

12.15 許可されたアーリーチェックイン

クルーは、アイテナリー（附則 2 参照）に記載されたタイムコントロールにおいて、ペナルティなしで早期チェックインすることが許可される。

12.16 カーウォッシュ

シェイクダウン後、および TC3A、TC6A、TC14A、TC18A、TC20A の前に洗車施設が提供されます。洗車は必須ではありません。サービスエリア内での洗車は禁止されています。

12.17 夜間パークフェルメ

技術的な故障により、夜間保管場所（パークフェルメ）からタイムコントロール地点まで自走できない車両は、主催者による支援を受けることができる。ただし、全てのタイムコントロール手続きを遵守しなければならず、遅延に対するペナルティは適用される。

12.18 メディアゾーン

全プライオリティドライバー（および要請に応じたコ・ドライバー）は、FIA メディア・デレゲートの許可を得るまで、または最低 15 分間、メディアインタビューに対応可能でなければならない。メディアゾーンは、サービスパーク内の **TC3A**、**TC6A**、**TC14A**、**TC18A**、**TC20A**、ならびに恵那峡ワンダーランド内の **TC9A** に設置される。

加えて、メディアは表彰台前の待機エリア（TC20A）においてクルーへのインタビューを実施することが許可される。

メディアゾーンへのアクセスは、以下の者に限定される：

- FIA メディア・デレゲートにより入場登録済みのメディアゾーン NFC タグを所持する認定メディアまたはチームメディア関係者。
- FIA メディア・デレゲートがメディア業務に従事していると認めるチーム代表者またはチーム関係者で、本イベント用に FIA メディア・デレゲートが発行したメディアゾーン NFC タグをパスに所持している者。
- 赤色オールアクセスパス所持者。

FIA メディア・デレゲートの許可を得て、適切なパスと承認されたアクセス権を所持している場合を除き、その他の関係者のメディアゾーンへの立ち入りは認められない。

NFC タグ（赤色オールアクセスパスおよび緑色メディアパスを除く）の配布および有効化に関するリクエストは、2026 年 5 月 26 日（火）日本時間 15:00 までに、FIA メディア・デレゲート Sven Good 宛てにメール（sgood@fia.com）で送ること。

12.19 FIA WRC メディアペン

FIA WRC メディアペンは、2026 年 5 月 28 日（木）11:00～12:30 に豊田スタジアム・ファンゾーンにて開催される。FIA WRC メディアペンは、全 P1 ドライバーおよび P2 ドライバー、ならびに P1 マニユファクチャーチーム代表者の参加が必須である。その他のプライオリティードライバーまたはコ・ドライバーについては、メディアが FIA メディア・デレゲートまたはナショナルプレスオフィサーに要請した場合に必須となる。競技参加者は最低 30 分間、または FIA メディア・デレゲートが終了を指示するまで出席すること。P2 ドライバーは 11 時 30 分以降の参加を推奨する。

12.20 フィニッシュ手順

TC20A およびテクニカルチェック終了後、全クルーはロードブックに示された通り、パルクフェルメ規則に基づき停止せずに豊田スタジアム表彰台待機エリアへ進入し、マーシャルの指示に従わなければならない。

全 P1 クルーはフィニッシュランプを走行すること。その他のクルーは、表彰対象外でかつ写真撮影目的のフィニッシュランプ走行を希望しない場合、ホールディングエリアでのメディアインタビュー後、最終パルクフェルメへ直接移動が可能となる。表彰式終了後、車両はクルーまたはチームメンバーによりパルクフェルメへ、あるいは指示があれば最終車検場へ移動すること。

FIA メディア・デレゲートが選定したドライバーは、17 時 30 分にメディアセンターで開催される FIA 記者会見への出席が義務付けられる。

12.21 エキジビションドライビング

専用区域で特に許可されている場合を除き、展示走行（「ドーナツ走行」）その他の危険運転は、スペシャルステージ以外の全区域において厳禁とする。違反行為は全て、審査委員会により最低 5 分のタイムペナルティが科される。

12.22 タイヤウォーミングゾーン

TC とスペシャルステージのスタート区間の間には、2026 年 FIA WRC 競技規則第 44.4 条に基づき、タイヤウォーミング専用区域が設定されている。これらの区域は「タイヤウォーミングゾーン」の標識で示される。タイヤウォーミングゾーン終了後に行われたタイヤウォーミング目的の走行は、すべて審査委員会に報告される。

タイヤウォーミングゾーン外でのタイヤウォーミング（ジグザグ走行）は厳禁。違反者は 1,000 ユーロの罰金が科され、競技長より競技者に通知される。その他の交通違反は審査委員会に報告される。これらのゾーンの距離はアイテナリーには記載されておらず、ロードブックに記載されている。

12.23 タイヤフィッティングゾーン

2026 年 FIA WRC 競技規則第 60 条に基づき、5 月 30 日（土）SS9 終了後、恵那峡ワンダーランドにてタイヤフィッティングゾーンを設置する。タイヤの当該区域への搬送に関する詳細は、COC コミュニケーションにて公表される。

12.24 シケイン

安全上の理由から、SS7/12 小原および SS15/19 額田において速度抑制のためシケインが設置される。シケインの位置はロードブックに記載され、レッキ用に路上にマーキングされる。可能であれば、ラリー本番時と同じ位置に設置される。レッキ期間中にシケインを設置できない場合、その位置は路上にマーキングされる。ラリー本番では、各シケイン構成要素の位置が舗装路面に表示される。事実審判員がシケインの適正通過を監視する。いずれかの構成要素が標示位置から完全に外れた場合、外れた要素 1 つにつき 5 秒のタイムペナルティがクルーに科され、競技長により競技者に通知される。その他の違反は審査委員会に報告される。

12.25 特別な手順

12.25.1 スペシャルステージでの事故の際／赤旗の手順

全競技者は、2026 年 FIA 世界ラリー選手権競技規則第 53 条 3 項、第 53 条 4 項及び第 53 条 5 項を遵守するよう強く注意喚起する。

12.25.2 サービスパークにおける防火

すべての競技者は、割り当てられたサービスエリア内に設置する認可済みの消火設備（消火器）を用意しなければならない。消火器は、日本の基準に基づき電気火災・油火災・一般火災に対応する「ABC 粉末消火器」とし、日本製製品を用意すること。消防署は日本製以外の消火器を一切認可しない。

12.25.2 環境への負荷

環境への故意の損害を与えたクルーまたはチームメンバーは、審査委員会に報告され、罰則が科される場合がある。環境損害には以下が含まれるが、これらに限定されない：

- 地面へのごみの投棄または液体のこぼれ
- 木々、動植物への故意の損傷

12.25.3 携帯電話の使用

日本の交通法規により、運転中の携帯電話などの携帯端末の操作は違法である。ラリー開催中はこれらが監視され、違反行為はすべて審判員に報告される。

12.26 ルートノートカー

2026 年 FIA WRC 競技規則第 9.5 条に規定される通り、プライオリティ 1 およびプライオリティ 2 のドライバーにのみ許可される。

ルートノートカーのドライバーは国際競技ライセンスの所持が必須である。全てのルートノートカーは主催者より交付された識別ステッカーの貼付が義務付けられる。

ルートノートカーの登録は、[オンラインフォーム](#)にて 5 月 25 日（月）日本時間 8:00 までに主催者へ提出すること。

ルートノートカー 1 台ごとに登録料を支払わなければならない。

12.26.1 特別な要件

ルートノートカーは、スペシャルステージでは時速 60km の速度制限が適用される。スペシャルステージ及びステージ間の一般道区間においては、全ての国内交通規則を遵守しなければならない。ルートノートカーのクルーは、ラリーと同じ進行方向で、減速した速度で注意深く走行すること。

これらの規定に違反した場合、主催者が発行した識別証は直ちに失効する。これに加え、審査委員会の裁量により他の罰則が科される場合がある。

12.26.2 ルートノートカーの GPS トラッキングシステム

全ルートノートカーは、レッキ時に使用した速度制御アプリを搭載する必要がある。ルートノートカーの運転中（道路区間を含む）は、RSLite アプリケーションを常に起動状態に保ち、携帯電話は常に充電されている状態を維持しなければならない。不正使用があった場合は審査委員会に報告される。

12.26.3 ルートノートクルーの最終進入時間

ルートノートクルーは、最初のラリーカーのスタート予定時刻の 90 分前までにスペシャルステージ（およびシェイクダウン）に入場すること。

SS10 笠置山 2 には、時間に余裕がある場合に限り車両の進入を許可する。RNC は RNEP 7(N35°29.165' E137°20.660')で許可を待つこと。競技長の許可が得られた場合、RNC は SS10 を通過できる。この場合、スペシャルステージ 11 およびスペシャルステージ 12 への最終進入時刻は、最初のラリーカーの予定時刻の 70 分前へと変更される。

12.26.4 ルートノート・エクスチェンジ・ポイント

COC コミュニケーションにて発表する。

13 オフィシャルの識別

全ステージ要員は識別用タバードを着用する。

運営スタッフ	赤地に「ORGANISATION」
スペシャルステージステージコマンダー	赤地に「STAGE COMMANDER」
副ステージコマンダー	赤地に「DEPUTY STAGE COMMANDER」
ポスト責任者	青地に「POST CHIEF」
ポストマーシャル	青地に「POST MARSHAL」
セーフティマーシャル	オレンジ地に「SAFETY」
レスキュー	オレンジ地に「RESCUE」
無線マーシャル	黄色地に無線マークと「RADIO」
メディカルスタッフ	白地に医療マークと「DOCTOR/NURSE/PARAMEDIC」
技術委員	黒地に「SCRUTINEER」
ボランティア	紫地に「VOLUNTEER」
メディア	緑のベスト（パーマネントメディア）
TV クルー	オレンジのベスト（パーマネントTV クルー）
ステージ外の封鎖・警備	グレーに「PUBLIC SAFETY」
気象（メテオ）クルー	黒と緑地に「METEO CREW」

14 賞典

表彰式はフィニッシュ・ポディウムで行われ、以下の部門でトロフィー／賞が授与されます：

FIA 世界ラリー選手権 - WRC

総合順位	総合優勝、2位、3位
マニュファクチャラー	優勝メーカー
FIA 会長メダル	受賞者
WRC2 & WRC3（各クラス）	優勝、2位、3位
WRC2 チーム	優勝
WRC2 チャレンジャー	優勝
WRC マスターズカップ	優勝

JRCar アワード（各クラス）

JR1	優勝、2位、3位
JR2	優勝
JR3	優勝

上記リスト（またはブルテンに掲載される追加リスト）に基づきトロフィーを獲得したドライバーおよびコ・ドライバーは、表彰式に出席しなければならない。不可抗力の場合を除き、欠席は審査委員会に報告される。

15 再車検、抗議

15.1 再車検

再車検は2026年5月31日（日）17:00より豊田スタジアム B2 駐車場で実施される。

ラリー終了後の車検対象車両は最終タイムコントロールで通知され、表彰式終了後、ドライバーまたはチーム代表者が車検場まで車両を移動させることが可能。車検員が車両の分解検査を希望する場合に備え、選定車両には工具を携行したメカニックが十分な人数で同行しなければならない。

15.2 抗議のデポジット

抗議デポジットは1,000ユーロとする。

抗議により車両の明確に定義された部分（エンジン、トランスミッション、ステアリング、ブレーキシステム、電気系統、ボディワーク等）の分解・再組み立てが必要となる場合、2026年FIA国際スポーツ規則第13.4.3条に基づき、審査委員会が追加保証金を指定することがある。抗議が根拠のないものと判断された場合、作業および車両輸送に要した費用は抗議申立者が負担する。抗議が認められた場合、当該費用は抗議対象の競技者が負担する。

抗議が根拠のないものであり、かつ抗議に要した費用（車検、輸送等）が（追加）保証金の額を上回る場合、その差額は抗議者（クレーム提出者）が負担するものとする。逆に、費用が保証金の額を下回る場合、その差額は返還されるものとする。

15.3 審査デポジット

審査デポジットは1,000ユーロとする。

15.4 控訴デポジット

適用される控訴手数料および適用される控訴保証金については、FIAの司法および懲戒規則を参照のこと。同規則は以下で入手可能。 <http://www.fia.com/international-court-appeal>.

APPENDIX 1 – アイテナリー

SHAKEDOWN				Thursday, 28 May 2026			
TC	Location	Distances			Target time	1st car due	
		SS	Liaison	Total			
Service Park (TOYOTA STADIUM)							
TCSD	Shakedown (Kuragaike Expressway Parking)		8.37	8.37		7:56	
SD	Shakedown (Kuragaike Park)	2.53				8:01	
	---	P1			08:01-09:45		
	---	Priority crews except P1			10:01-11:00		
	---	Non-Priority crews			11:01-12:30		
Service Park (TOYOTA STADIUM)							
			7.28	9.81			
Shakedown Totals		2.53	15.65	18.18			
			Sunrise	4:40	Sunset	18:57	

Shakedown

Version 1.0 - 10 March 2026

Start of the Rally Sections 1 & 2 **Friday, 29 May 2026**

TC	Location	Distances			Target time	1st car due
		SS	Liaison	Total		
0	Start of the Rally (TOYOTA STADIUM)					7:00
RZ	Refuel - TOYOTA STADIUM		[0.60]			
1	Distance to next refuel	(37.19)	(46.60)	(83.79)		
1	Takaya		31.98	31.98	1:00	8:00
SS1	Asuke 1	12.90				8:03
2	Kento		10.61	23.51	0:40	8:43
SS2	Isegami's Tunnel 1	24.29				8:46
RZ	Refuel - Asahi General Gymnasium		[4.61]			
2	Distance to next refuel	(17.08)	(71.02)	(88.10)		
3	Inabu		24.73	49.02	1:20	10:06
SS3	Inabu/Shitara 1	17.08				10:09
3A	Technical Zone & Regroup IN (TOYOTA STADIUM)		50.30	67.38	1:45	11:54
3B	Regroup OUT & Service IN				0:30	12:24
SERVICE A (TOYOTA STADIUM)		(54.27)	(117.62)	(171.89)	0:30	
3C	Service OUT					12:54
RZ	Refuel - TOYOTA STADIUM		[0.60]			
3	Distance to next refuel	(37.19)	(46.60)	(83.79)		
4	Takaya		31.98	31.98	1:00	13:54
SS4	Asuke 2	12.90				13:57
5	Kento		10.61	23.51	0:40	14:37
SS5	Isegami's Tunnel 2	24.29				14:40
RZ	Refuel - Asahi General Gymnasium		[4.61]			
4	Distance to next refuel	(17.08)	(73.49)	(90.57)		
6	Inabu		24.73	49.02	1:20	16:00
SS6	Inabu/Shitara 2	17.08				16:03
PC1	Toyota Kitamachi		(49.79)			-
6A*	Technical Zone & Parc Fermé IN		52.01	69.09	2:15	18:18
6B	Parc Fermé OUT - Service IN				0:10	18:28
FLEXI SERVICE B (TOYOTA STADIUM)		(54.27)	(119.33)	(173.60)	0:45	
6C*	Service OUT & Parc Fermé IN					19:13
* TC6A and TC6C: early check-in allowed (at TC6A when media obligations are respected)						
All cars (except P1 and restarting crews) must enter Parc Fermé no later than:						21:15
Friday totals		108.54	236.95	345.49		
			Sunrise	4:40	Sunset	18:58

Section 1

Section 2

Sections 3, 4 & 5		Saturday, 30 May 2026				
TC	Location	Distances			Target time	1st car due
		SS	Liaison	Total		
6D	Parc Fermé OUT					6:13
6E	Service IN	0.00	0.76	0.76	0:05	6:18
SERVICE C (TOYOTA STADIUM)		(0.00)	(0.76)	(0.76)	0:15	
6F	Service OUT					6:33
RZ	Refuel - TOYOTA STADIUM		[0.60]			
5	Distance to next refuel	(37.60)	(74.43)	(112.03)		
7	Obara		30.91	30.91	1:05	7:38
SS7	Obara 1	16.44				7:41
8	Ena		28.53	44.97	1:10	8:51
SS8	Ena 1	21.16				8:54
PC2	IWAMURA		(1.71)			-
RZ	Refuel - Gifu Ena Joint Office Parking		[15.59]			
6	Distance to next refuel	(39.00)	(54.65)	(93.65)		
9	Makoto		35.34	56.50	1:35	10:29
SS9	Mt. Kasagi 1 (Live TV)	19.50				10:35
9A	Technical Zone & Regroup IN (Enakyo Park)		6.62	26.12	0:40	11:15
9B	Regroup OUT & Tyre Fitting Zone IN				0:49	12:04
Tyre Fitting Zone (Enakyo Park)		(57.10)	(101.40)	(158.50)	0:15	
9C	Tyre Fitting Zone OUT					12:19
10	Makoto		15.77	15.77	0:40	12:59
SS10	Mt. Kasagi 2 (Live TV)	19.50				13:05
RZ	Refuel - Gifu Ena Joint Office Parking		[12.51]			
7	Distance to next refuel	(44.28)	(82.11)	(126.39)		
11	Ena		32.60	52.10	1:30	14:35
SS11	Ena 2	21.16				14:38
PC3	IWAMURA		(1.71)			-
12	Obara		27.27	48.43	1:15	15:53
SS12	Obara 2	16.44				15:56
12A	Regroup IN (Aichi Greenery Center)		19.03	35.47	1:00	16:56
13	Regroup OUT				0:13	17:09
SS13	Fujioka SSS 1	3.34				17:15
14	Iwata		0.86	4.20	0:20	17:35
SS14	Fujioka SSS 2	3.34				17:38
14A*	Technical Zone & Parc Fermé IN (TOYOTA STADIUM)		13.50	16.84	0:45	18:23
14B	Parc Fermé OUT - Service IN				0:10	18:33
FLEXI SERVICE D (TOYOTA STADIUM)		(63.78)	(109.03)	(172.81)	0:45	
14C*	Parc Fermé IN					19:18
* TC14A and TC14C: early check-in allowed (at TC14A when media obligations are respected)						
All cars (except P1 and restarting crews) must enter Parc Fermé no later than:						21:19
Saturday totals		120.88	211.19	332.07		
			Sunrise	4:39	Sunset	18:59

Version 1.0 - 10 March 2026

Section 3

Section 4

Section 5

Sections 6, 7 & 8				Sunday, 31 May 2026		
TC	Location	Distances			Target time	1st car due
		SS	Liaison	Total		
14D	Parc Fermé OUT					6:56
14E	Service IN		0.76	0.76	0:05	7:01
SERVICE E (TOYOTA STADIUM)		(0.00)	(0.76)	(0.76)	0:15	
14F	Service OUT					7:16
RZ	Refuel - TOYOTA STADIUM		[0.60]			
8	Distance to next refuel	(39.59)	(81.61)	(121.20)		
15	Nukata		29.15	29.15	0:55	8:11
SS15	Nukata 1	20.49				8:14
16	Mikawako Enchi		11.90	32.39	0:45	8:59
SS16	Lake Mikawako 1 (Live TV)	13.98				9:05
17	Kaho		27.79	41.77	1:05	10:10
SS17	Kuragaike SSS 1	2.56				10:13
18	Kaho		3.70	6.26	0:15	10:28
SS18	Kuragaike SSS 2	2.56				10:31
18A	Technical Zone & Regroup IN (TOYOTA STADIUM)		9.07	11.63	0:25	10:56
18B	Regroup OUT & Service IN				0:20	11:16
SERVICE F (TOYOTA STADIUM)		(39.59)	(81.61)	(121.20)	0:15	
18C	Service OUT					11:31
RZ	Refuel - TOYOTA STADIUM		[0.60]			
9	Distance to Finish	(34.47)	(71.03)	(105.50)		
19	Nukata		29.15	29.15	0:55	12:26
SS19	Nukata 2	20.49				12:29
19A*	Regroup IN (SUGAMORI)		9.48	29.97	0:40	13:09
19B	Regroup OUT				0:46	13:55
20	Mikawako Enchi		6.51	6.51	0:15	14:10
SS20	Lake Mikawako 2 Wolf Power Stage	13.98				14:15
20A*	FINISH - Technical Zone & Podium Holding Area IN Parc Fermé IN - TOYOTA STADIUM		26.49	40.47	1:30	15:45
* TC19A and TC20A: early check-in allowed (at TC20A when media obligations are respected)						
Sunday totals		74.06	154.00	228.06		
			Sunrise	4:39	Sunset	18:59

Version 1.0 - 10 March 2026

Totals of the Rally					
		SS Dist.	Liaison Dist.	Total Dist.	SS %
Friday	6 SS	108.54 km	236.95 km	345.49 km	31.42 %
Saturday	8 SS	120.88 km	211.19 km	332.07 km	36.40 %
Sunday	6 SS	74.06 km	154.00 km	228.06 km	32.47 %
Total	20 SS	303.48 km	602.14 km	905.62 km	33.51 %

Note: Tyre Warming Zones are not included in the distances

APPENDIX 2 – レッキスケジュール

Stage open time

2026/1/14 Ver 0.03

	P1 OpenTi	P2,P3 Open	Non-P Open	Close Time	SS No.	Location	Distance
May 26 2026 Tuesday	08:30~	8:45~	9:00~	~11:30	SS16/20	Nukata	20.23 km
	10:00~	10:15~	10:30~	~13:00	SS17/21	Lake Mikawako	13.98 km
	12:30~	12:45~	13:00~	~15:30	SS2/5	Asuke	13.11 km
	13:30~	13:45~	15:00~	~16:30	SS3/6	Isegami's Tunnel	20.47 km
	16:00~	16:15~	17:30~	~19:00	SS4/7	Inabu/Shitara	17.08 km

May 27 2026 Wednesday	08:00~	8:15~	8:30~	~10:00	SS18/19	Kuragaike Park	3.70 km
	08:30~	8:45~	9:00~	~11:30	SS14,15	Fujioka	3.34 km
	09:30~	9:45~	10:00~	~12:30	SS8/13	Obara	16.44 km
	11:30~	11:45~	12:00~	~14:30	SS9/12	Ena	21.16 km
	13:30~	13:45~	14:00~	~16:30	SS10/11	Mt.Kasagi	21.74 km
	16:30~	16:45~	17:00~	~18:30	SD	SD Kuragaike	2.53 km

Times shown are at Stage starts.

APPENDIX 3 – コンペティター・リレーションズ・オフィサー



Peter Macneall
Phone TBA
CRO1@rally-japan.jp



竹下紀子
Phone TBA
CRO2@rally-japan.jp

APPENDIX 4 – 広告と識別

ラリープレートおよび競技番号は、2026年 FIA WRC 競技規則第 27 条および第 29 条に基づき主催者より提供され、下記の図示通りに取り付けなければならない。

1. 競技番号、1 台につき 1 枚、50 x 52 cm

屋根に設置する長方形のパネル 1 枚（上端を車両前方に向けて）

2. フロントドアパネル、1 台あたり 2 枚、67 x 17 cm

車両両フロントドア（サイドウィンドウ下端から 7~10cm の位置）に縦向きに設置する長方形パネル 2 枚

3. 競技番号、1 台あたり 2 枚、高さ 20cm

両リアサイドウィンドウに設置する競技番号 2 枚

4. ラリープレート、1 枚/車両、43 x 21.5 cm

ボンネットに 1 枚設置するプレート

5. 競技番号、1 枚/車両、15 x 15 cm

リアウィンドウ用競技番号 1 枚。リアウィンドウ下端中央（リアウィンドウパネル上部）に設置

6. リアウィンドウパネル、1 台につき 1 枚、30 x 10 cm

リアウィンドウ用長方形パネル 1 枚。リアウィンドウ下部中央（競技番号の下）に設置

7. ドライバーおよびコ・ドライバー名ステッカー、1 台につき 2 枚（主催者提供外）、2026 年 FIA WRC 競技規則第 28.1 条に準拠

- 白色ヘルベチカ書体で記載すること
- イニシャル及び各名前の頭文字は大文字、残りは小文字とする
- 高さ 6cm、ストローク幅 1cm
- ドライバー名は車両両側において上部に記載すること
- 名前の後にパスポート発行国の国旗を付記すること

選手権識別と広告

マニュファクチャラー選手権、WRC2 および/または WRC3 選手権にエントリーするプライオリティ車両は、主催者が提供する適切なステッカーセットを使用しなければならない。その他の全競技者は、主催者から要求された場合、適切なステッカーセットを装着しなければならない。（2026 年 FIA WRC 競技規則 第 29.5 条）

8. 選手権フロントガラス識別標識

2026 年 FIA WRC 競技規則第 29.5.1 条に基づく、WRC プロモーター発行の高さ 15cm フロントガラス用ステッカー。

9. 選手権ドアプレート 67 x 6 cm

2026 年 FIA WRC 競技規則第 29.5.1 条に基づき、WRC プロモーター発行の選手権識別表示を、両フロントドアの競技番号直下に設置する長方形パネル 2 枚。

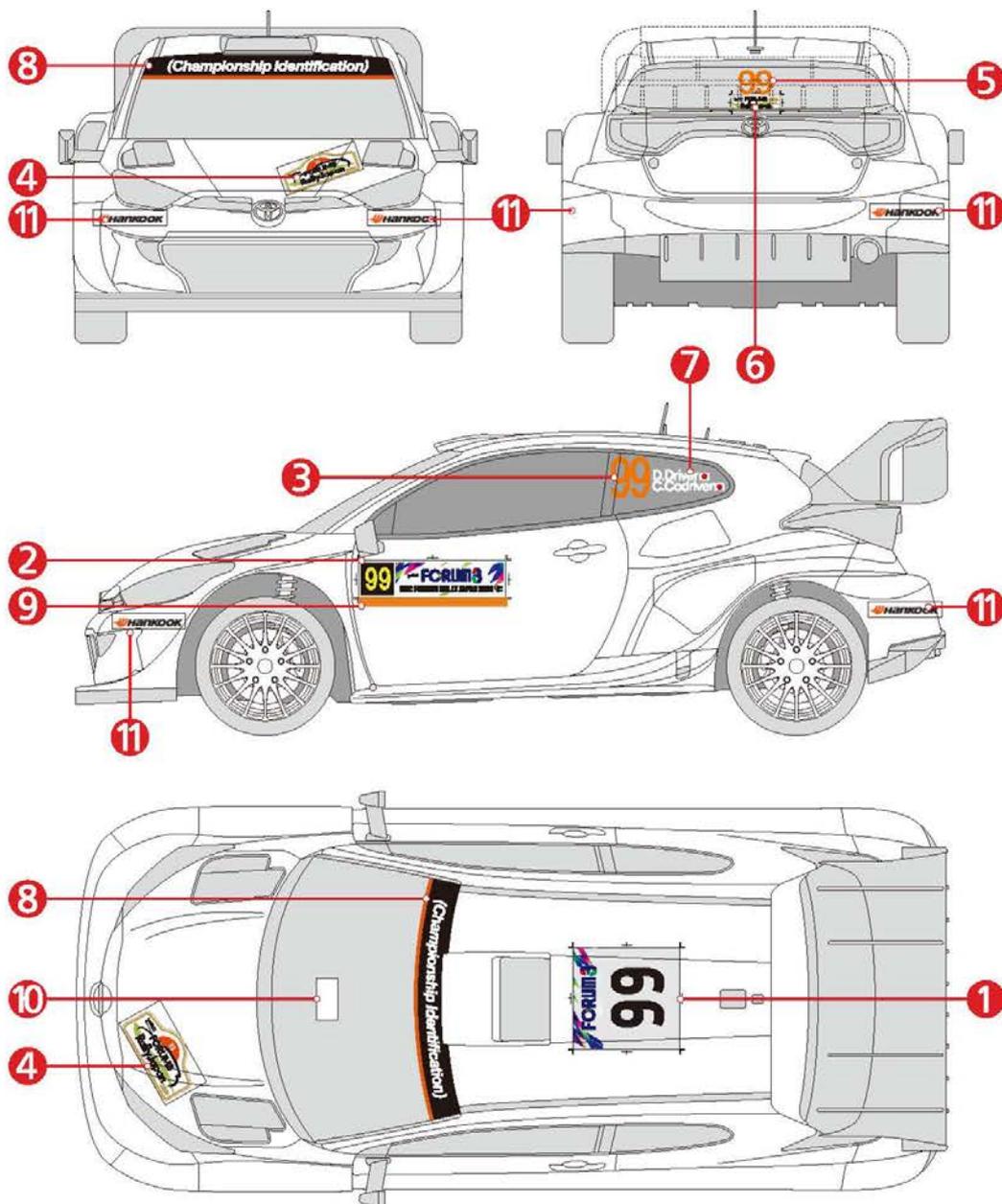
10. ダッシュボードスペース 20 x 10 cm – WRC プロモーター指定車両のみ

2026 年 FIA WRC 競技規則第 29.5.1 条に基づき、選手権プロモーターの車載カメラの視認範囲内に設置。

11. タイヤメーカーステッカー、幅 33.5 cm（4WD 車のみ必須）

車両各コーナー、ホイール付近に配置。タイヤメーカーと合意の上、2026 年 FIA WRC 競技規則第 29.5.1 条に準拠。

APPENDIX 4 – 広告と識別



APPENDIX 5 – ドライバーの安全装備

全競技者は、2026年 FIA 国際スポーツ規則附則 L、特に第 III 章「ドライバー装備」を再確認すること。これらの規定はシェイクダウンにも適用される。

ヘルメット (附則 L、第 III 章、第 1 条)

プライオリティ 1 ドライバー及びそのコ・ドライバーは、FIA 規格 8860-2018 または 8860-2018-ABP に準拠したヘルメットを着用しなければならない。これは、ワールドラリーカーで競技する全てのプライオリティ 2 クルーにも適用される。

その他の全てのクルーは、以下のいずれかの FIA 規格にホモロゲーションされたクラッシュヘルメットを着用しなければならない：

- 8859-2015 (Technical List № 49),
 - 8859-2024 or 8859-2024 ABP (Technical List № 107),
 - 8860-2010 (Technical List № 33) or
 - 8860-2018 or 8860-2018-ABP (Technical List № 69)
- テクニカルリスト第 25 号も参照のこと

フルフェイスヘルメットを着用するドライバーおよびコ・ドライバーは、イベント開始前に検査を受けるため、FIA メディカルデレゲート (wrc.medicaldelegate@fia.com) またはチーフメディカルオフィサーに連絡しなければならない。この検査は附則 L、第 III 章、第 1.3 条に規定されている。

フロントヘッドレストレイント (FHR、附則 L、第 III 章、第 3 条)

全クルーは FIA 規格 8858 に適合した FIA 公認 FHR システムを使用しなければならない。公認 FHR、アンカレッジ、テザーはテクニカルリスト第 29 号に記載されている。附則 L、第 III 章、第 3.3 条のヘルメット互換性表も参照のこと。

難燃性衣類 (附則 L、第 III 章、第 2 条)

全ドライバーおよびコ・ドライバーは、FIA 8856-2018 規格 (テクニカルリスト第 74 号) に適合したオーバーオール、グローブ (コ・ドライバーは任意)、長袖アンダーウェア、バラクラバ、ソックス、シューズを着用しなければならない。

難燃性衣類への刺繍およびプリントに関する第 2 条の規定 (製造者証明書等) ならびに衣類要素の正しい着用方法については特に注意を払うこと。2026 年 FIA WRC 競技規則第 53.1 条も参照のこと。

生体認証装置 (附則 L、第 III 章、第 2.1 条)

ドライバーは、レース中に生体認証データを収集する装置を着用することができる。

・生体認証装置が FIA 規格 8856 に適合認定された保護服に組み込まれている場合、当該保護服は FIA 規格 8856 および 8868-2018 に適合認定されなければならない。

・生体認証装置が独立した装置である場合、当該装置は FIA 規格 8868-2018 のみに適合認定されなければならない。この装置は、FIA 規格 8856 に適合認定された衣服に加えて着用しなければならない。

装飾品の着用 (附則 L、第 III 章、第 5 条)

競技会中は、ネックレス、ブレスレット、腕時計など、あらゆる種類の装飾品の着用を禁止する。しかし、CMO および/またはメディカルデレゲートが、その大きさや位置により救助の遅延や緊急処置の妨げになると判断しない場合に限り、以下の例外を認める：

- i. コ・ドライバーによる腕時計の着用 (ただし、オーバーオールの上に着用すること)
- ii. 手の自然な可動域を制限しない単一のバンド式指輪の着用
- iii. 口腔内および/または口腔周辺に着用されていないボディピアス

関連リンク

2026 FIA International Sporting Code and appendices
FIA Technical Lists:

<https://www.fia.com/regulation/category/123>
<https://www.fia.com/regulation/category/761>

APPENDIX 6 – FIA WRC トラッキングシステム

プライオリティ競技者は全員、SAS RallySafe WRC 仕様取り付けキットを購入する必要がある。このキットは、すべての世界ラリー選手権イベントにおいて車両に恒久的に設置されるものである。SAS RallySafe WRC 仕様取り付けキットには、FIA セーフティトラッキング装置およびリモート LED ディスプレイがイベントで供給される前に、車両に予め設置される必要のある全てのアンテナ、取付部品、配線部品が含まれる。SAS RallySafe WRC 仕様取り付けキットは、RallySafe ショップ (<https://statusas.com/wrc-kit>) で購入可能であり、イベント前に競技者へ発送されるか、イベント会場で受け取るか、あるいはイベント会場で FIA セーフティトラッキング装置を受け取る際に現地購入することも可能。キットの価格は 150.00 ユーロ (送料・手数料別)。

ノンプライオリティ競技者のみが、SAS RallySafe WRC 仕様キットの購入に代わる選択肢として、単一イベント向けにキットをレンタルするオプションを利用できる。レンタル費用は 50.00 ユーロで、イベント当日に FIA セーフティトラッキング装置受取窓口にて支払い・受領し、イベント終了後に追跡装置と共に返却する必要がある。

FIA セーフティ追跡デバイスの設置および操作手順ならびに RSLite アプリの使用説明書は、ラリー公式サイト (競技者向けセクション) で入手可能。 www.rally-japan.jp:

- SAS Tracker フィッティングキットマニュアル
- SAS Tracker 競技者ユーザーマニュアル
- SAS Tracker-RSLite 競技者マニュアル (レッキ用)

上記の指示は、本特別規則書の不可分の一部とみなされる。

FIA セーフティトラッキング装置 - チュートリアルビデオ: <https://youtu.be/GmigluXfueQ>

